

1. 研究主題

「課題解決に向けて、自ら考え、共に学び合う子の育成」

～ 言語活動を通して読む力を高める授業づくり ～

2. 主題設定の理由

本校では、過去の基礎学力調査、全国学力・学習状況調査の結果から、本校児童にとって国語科の「読むこと」に課題が見られ、記述式の正答率の低さや無回答率の高さが明確になった。そこから、本校児童に、叙述に即して確かに読みとる力や思考力を働かせて主体的に読みとる力など「読むこと」の力に課題があると考えられた。

そこで、本校の課題を克服するために、昨年度から国語科を中心に据え、「説明的な文章」を中心に「読むこと」に重点をおいて研究を行ってきた。また、子どもたちに力を付けるためには、教師の授業力向上が不可欠であると考え、国語科における「単元を貫く言語活動を位置づけた授業づくり」を通し、自分の言葉で表現できる子をめざして課題解決型学習（課題設定の工夫、読む力を意識した授業展開）を意識して授業づくりに取り組んできた。そのことで、教師の授業改善の意識は高まり、授業が変わることにより、子どもたちの学習に対する意識も変わってきた。どの子にも、「やりたい」「できるようになりたい」という気持ちが芽生え、授業への意欲も高まり、主体的に取り組もうとする姿がみられるようになった。さらに、ペア学習やグループ学習の目的を明確にし、効果的に設定して共に学び合う子の育成にも努めてきた。また、ねらいを明確にして「単元を貫く言語活動」を設定して授業したことで、目的意識をもって読む力、書き手の意図を読む力、説明的な文章の構成を知る力がつき、平成27年度の小松市学力調査の結果からも読む力・書く力において向上の兆しがみえてきた。

そこで、昨年度の学校研究において「説明的な文章」の実践で得た成果を生かし、更に「読むこと」の幅を広げるために、今年度は、登場人物に着目して読む力、誰の何が変容したかを読む力、自分の考えや根拠を明確にして読む力をつけるために「文学的な文章」での実践にも取り組み研究を進めていきたい。

3. 研究内容

(1) 活用力を高める授業づくり

①単元構成の工夫

ア. 身に付けたい力の明確化（児童の実態把握・既習事項の把握・指導事項の確認）

イ. 言語活動

- ・単元でねらいとする力が確実に身につく言語活動
- ・アクティブ・ラーニングを具現化する単元を貫く言語活動

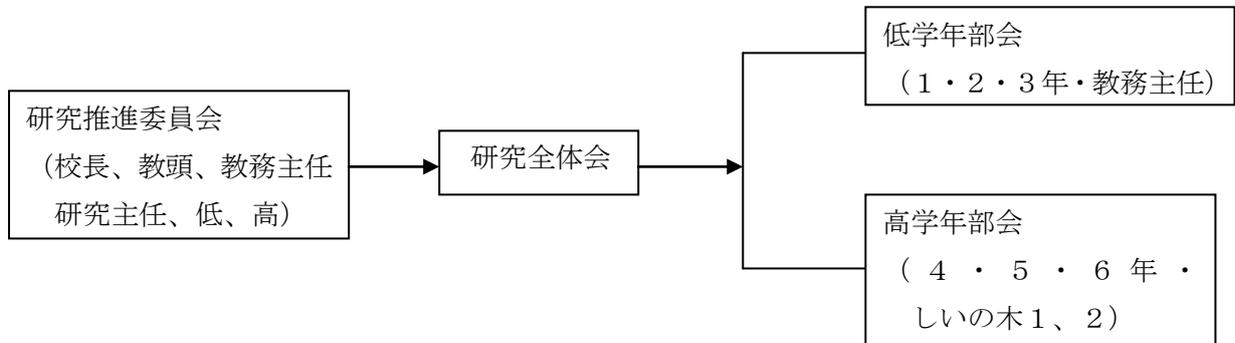
②授業改善の推進

- ア. 児童の学習意欲を高め、学習のねらいにせまる課題の工夫
- イ. 子どもにとって「知りたい」「やりたい」「伝えたい」といった児童の主体的な思いを重視した課題解決の過程をつくる
- ウ. 話し合う目的を明確にした交流の時間や場面を適切に位置づける
- エ. 学んだことを実感できる振り返る活動の充実

(2) 学力・学習を支える基盤づくり

- ①チャレンジタイムの取り組み（読解力・記述力）
- ②読書活動の充実（朝読書・並行読書）
- ③表現活動の工夫（音声発表・意見発表など）

4. 研究組織



○研究推進委員会

- ・研究推進のための原案作り（理論作り、研修会の企画など）や研究の方向や進め方を提案し、各部会の連携を図りながら実践を進める。

○全体会

- ・全体協議の場で、研究の進め方について共通理解を図り、研究の方向や進め方を決定する。
- ・模擬授業、研究授業の指導案検討、授業整理会などを行う。

○低・高学年部会

- ・教材研究、指導案の検討、児童の実態把握をする。
- ・単元で身に付けさせたい力を育成するための言語活動を設定した研究実践を行う。

5. 研究仮説

国語科の「読むこと」の指導法の向上を図ると共に、また、「言語活動の充実」をめざしていくことで、児童の主体的な学びのある学習活動が充実し、自ら解決する力や集団で解決する力を高めることができ、ともに学び合い高まり合う授業を作り上げることができるだろう。

6. 研究の方法

- ①研究推進委員会が中心となり、各部会との連携を図りながら実践を進める。
- ②全体会・研修会を開き、共通理解を図りながら進めていく。
- ③研究授業を行い、実践を深めていく。
- ④日頃から授業を見合う機会を持ち、日々研鑽する。
- ⑤他校視察を行い、指導に生かしていく。
- ⑥学力向上パートナーシップ推進事業における連携校と共同研究を行う。

7. 研究計画

| | 月 | 内 容 |
|-------------|----|--|
| 一 学 期 | 4 | 研究の基本計画（主題、副題、内容、方法、組織、研究計画）の決定 |
| | 5 | 単元構成について（市教委指導主事要請） 学力向上パートナーシップ推進事業パートナー校との打合せ会 学力向上パートナーシップ推進事業合同研修会（樺山先生をむかえて） 研究全体会 提案授業（ 3年 ） |
| | 6 | 研究全体会 研究授業（ 年 ） 公開授業（特別支援学級） 【計画訪問】 6年児童によるモデル授業（学習のきまり） |
| | 7 | 研究授業（ 年 ） |
| | 8 | 研究全体会（1学期のふり返り及び2学期の方向性についての確認） 校内研修会 |
| 二 学 期 | 9 | 研究授業（ 年 ） |
| | 10 | 研究全体会 研究授業（ 年 ） 【要請訪問】 5年児童によるモデル授業（授業の進め方） |
| | 11 | 研究授業（ 年 ） 公開授業（特別支援学級） |
| | 12 | 研究全体会（2学期を振り返って） |
| 三 学 期 | 1 | 研究のまとめ |
| | 2 | 研究全体会（今年度の総括及び次年度の方向性について） |
| | 3 | 次年度の研究準備 |